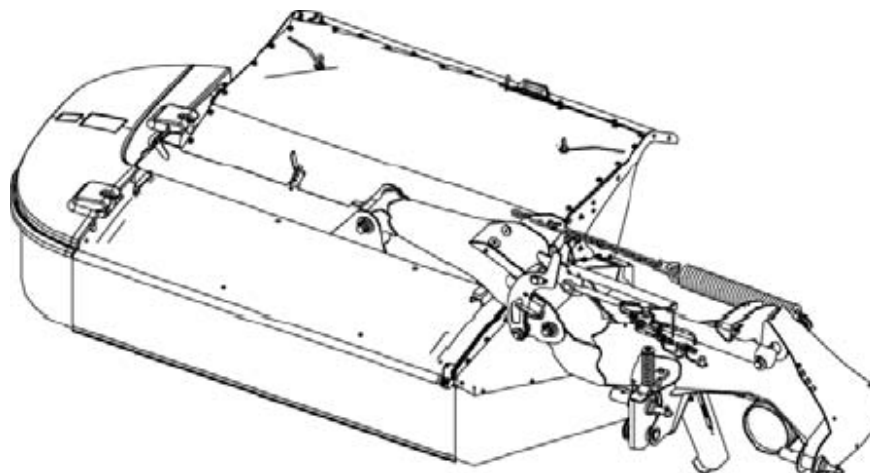


モアコンディショナー



取扱説明書

EX624T/628T



安全にお使いいただくために、この取扱説明書をご使用前に必ずお読み下さい。

いつまでも大切に保管してください。

はじめに

このたびはピコン製品をお買い上げいただきありがとうございました。この取扱説明書は、製品の正しい取扱方法、注意事項について説明しています。ご使用前に必ずよくお読みいただき十分理解され、お買い上げの製品を正しくお取扱いただき、安全な作業をするためにご活用ください。お読みになった後は必ず大切に保管し、ご使用中にわからないことがあった時には取出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、ご了承ください。

安全第一

この取扱説明書に記載した注意事項や機械に貼られた  の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。ご使用前によく読んで必ず守ってください。

注意表示について

この取扱説明書では、とくに重要と考えられる取扱上の注意事項についてつぎのように表示しています。



適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡や重大な障害が生じる危険が極めて大きいことを示します。



適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡または重大な障害が生じる危険が存在することを示します。



安全な取扱に対する助言を守らなかったり、適切な事前注意を払わなかった場合に、傷害または製品の重大な破損に至る可能性があることを示します。

適切な事前注意を払わなかった場合に、機械の破損や故障の原因になる恐れがあることを示します。

同封の「安全説明カード」と「保証書」には、必要事項が必ず記入されていることを確認してください。作業機の取扱説明書と合わせてご活用ください。

2.作業時の注意事項



ナイフ取り付けボルト・ナットの点検

ボルト・ナットの緩みがないか点検し、所定のトルクで締めてください。作業中にブレードが外れて、**死亡や重大な傷害事故や周囲の器物破損の原因**となります。



停止、安定した状態で点検・整備

機械が安定停止した状態で置かれていることを確認した後、点検・整備を行ってください。不安定な状態や停止していないときは機械が動いたりして、**傷害事故の原因**となります。



安全カバーの点検

安全カバー、PTO シャフトカバーなど全てのカバー類の取り付けを点検してください。カバーの外れ、破損、不完全な取り付けは、**死亡や重大な傷害事故の原因**となります。



油圧回路の点検

油圧ホース、カプラー、シリンダーが汚れていたり、破損していないか点検してください。油圧ホースやシリンダーが破損していると**傷害事故の原因**となります。

3.トラクターへの着脱時の注意事項



人(子供)を近づけない

作業機の着脱は一人で行い、さらに、人(特に子供)に注意し周囲に近づけないようにしてください。接触やはさまれたりして、**重大な傷害事故の原因**となります。



作業機を装着するときはトラクターのエンジンを止める

トラクターの PTO を切りエンジンを止めた状態にして、作業機をトラクター3点リンクヒッチに着脱してください。**死亡や重大な傷害事故の原因**となります。



PTO シャフトの着脱と機械の調整・点検時はエンジンを止める

トラクターの PTO を切り、エンジンを停止し、キーを外してから行ってください。トラクターや PTO が急に動きだし、回転部に巻き込まれたり、トラクターや機械との接触などにより**死亡や重大な傷害事故の原因**となります。



トラクターと機械の間に立たない

トラクターを移動させて着脱するとき、トラクターと機械の間に立たないでください。接触やはさまれて、**死亡や重大な傷害事故の原因**となります。



機械の下に入らない

機械を上げたとき、機械の下にもぐったり、足を踏込んだりしないでください。トラクターのエンジンを停止していても機械の自重やその他の原因で下降し、**傷害事故の原因**となります。



平坦な場所で着脱する

機械が安定した状態を保てる、平坦な場所で行ってください。不安定な状態では、機械が転倒して事故の原因になる他、トラクターが動き**重大な傷害事故の原因**となります。



回転半径に入らない

トラクターの回転半径は、作業機を取付けた場合、トラクター含めた全体の回転半径は大きくなります。**接触して傷害事故の原因**となります。

4.作業時の注意事項



PTO を回すときは周囲に人を近づけない

トラクターの PTO を入れ、作業機の回転をスタートさせるときは、人を機械に近づけないでください。特に、子供には注意し、機械の後ろに人がいないことを確認してください。石・れきなどが飛散し、**死亡や重大な傷害事故の原因**となります。



人を近づけない

刈り取り作業の開始時および作業中は石・れきなどが飛散する範囲内に人を近づけないでください。**死亡や重大な傷害事故の原因**となります。



作業機の調整はエンジンを止めてから

調整をするときはトラクターの PTO を切り、エンジンを止めてから行ってください。トラクターや作業機が急に動きだし、回転部に巻き込まれたり、接触などにより**死亡や重大な傷害事故の原因**となります。



回転部が停止するまで作業機に近づかない

回転の停止操作 (PTO を切るなど) を行った後、すぐには止まらずしばらく回転 (ナイフ回転など) しています。接触で**傷害事故の原因**となります。



PTO シャフトに近づかない

作業機が回転中は、PTO シャフトに近づかないでください。衣服、手、毛髪などが巻き込まれ**死亡や重大な傷害事故の原因**となります。



傾斜地での急旋回はしない

トラクターが転倒し、**重大な傷害事故の原因**となります。

5.作業終了後・格納時の注意事項



平坦な場所に格納する

人が近づかないような場所で、かつ、平坦な場所で安定した状態で格納してください。不安定な場合、転倒して**死亡や傷害事故、機械の破損の原因**となります。



作業機の上に乗らない

特に、子供が上に乗って遊ばないように注意してください。転倒して、**傷害事故の原因**となります。

安全に作業するために

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み理解した上で安全な作業を行ってください。安全に作業をするために守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも本文の中で「警告サイン」として説明の都度取り上げております。

1. 一般注意事項



取扱説明書を読む

共同作業や他人に機械を貸す場合は、使用者全員が取扱説明書をよく読んでから使用するよう指導してください。**死亡や重大な傷害事故、機械の破損の原因となります。**



作業に適した服装をする

袖口、裾口がきっちりとした作業着を着用してください。回転部に巻き込まれたり、機械に引っ掛かったりするおそれがあります。**死亡や重大な傷害事故の原因となります。**



点検・整備をする

機械の仕様前後には必ず点検・整備をしてください。ボルト・ナットの緩み、機械の損傷などをチェックし、増し締めおよび修理をしてください。**傷害事故の原因や機械の破損の原因となります。**



改造しない

この機械の改造をしないでください。純正のアタッチメントやパーツ以外は取り付けしないでください。**傷害事故の原因や機械の破損の原因となります。**



他の目的で使わない

作業機はそれぞれの作業用途に合わせて製造されています。作業用途目的以外の作業では使用しないでください。**機械の破損の原因となります。**

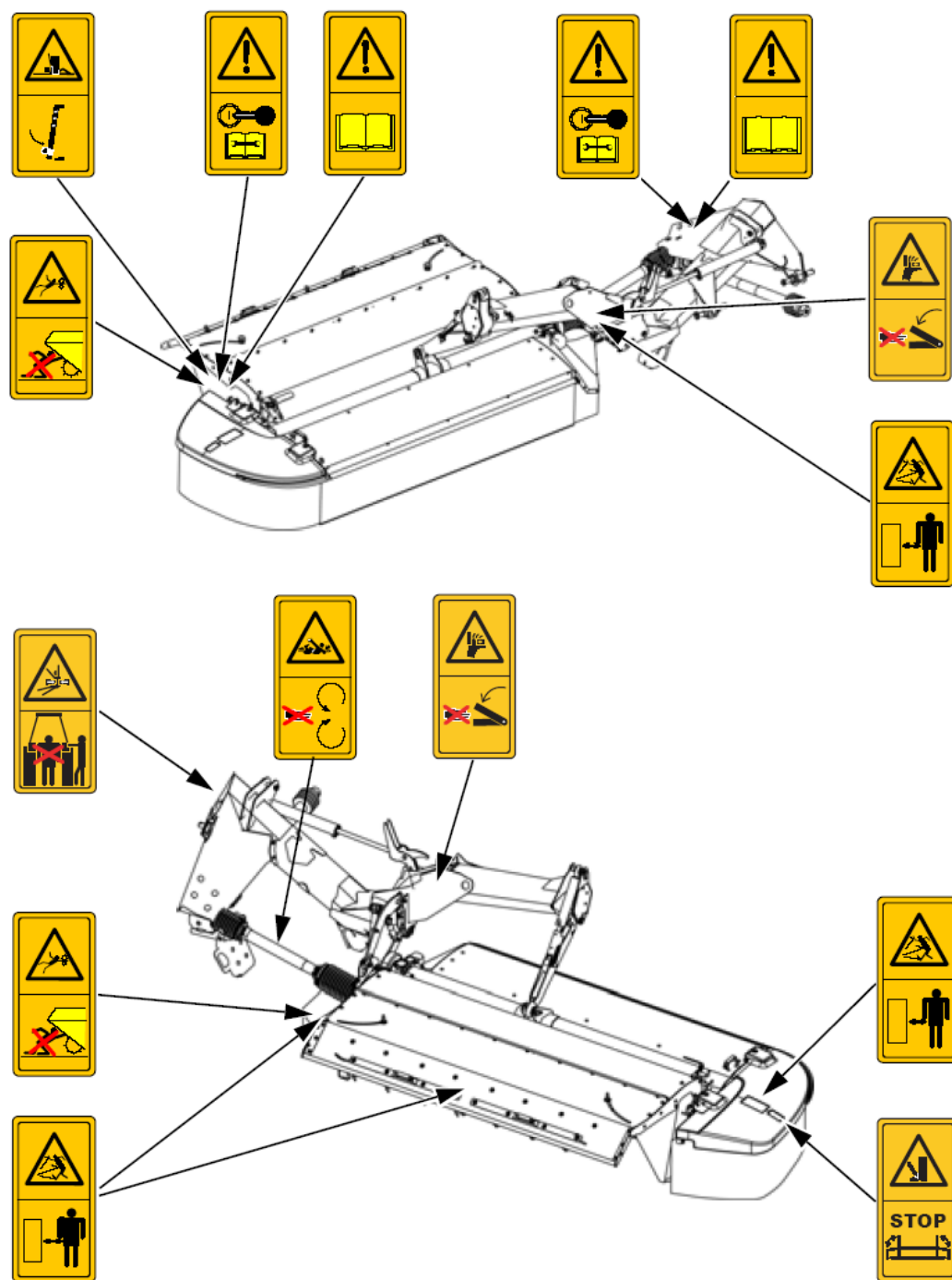


公道走行時は作業機の装着禁止

公道を走行するときは、作業機を取り外してください。**道路交通法の違反となります。**

警告ラベルの貼付け位置

機械には、安全にお使いいただくために、各種の警告ラベルが貼ってあります。安全に作業をするためにも、よく理解してください。ラベルが破損・紛失した場合は新しいものに貼りなおしてください。



警告ラベルの説明

共同作業や他人に機械を貸す場合も含め、機械の運転や点検整備をする前にかならず取扱説明書を読み、全員が正しい機械の取扱い方法を理解してください。間違った取扱は**重大な傷害事故の原因**となります。



機械の調整・点検・保守管理をするときはトラクターのエンジンを止め、キーを抜いてください。トラクターや機械が急に動き出して回転部に巻き込まれたり、トラクターや機械との接触などにより**死亡や重大な傷害事故の原因**となります。



機械が回転中は PTO シャフトに近づかないでください。また、安全カバーを常に正しく取り付けてください。衣服、手、毛髪などが巻き込まれ、**死亡や重大な傷害事故の原因**となります。



刈取作業の開始時および作業中は、小石やれきなどが飛散する範囲内に人を近づけないでください。飛散物が当たり、**死亡や重大な傷害事故の原因**となります。



作業中は機械の回転部に近づかないでください。ナイフなどで手、足など身体の一部が接触し、**重大な傷害事故の原因**となります。



トラクターへの機械の取付け、取外しをするときは、トラクターと機械の間に立たないでください。はさまれて、**死亡**や**重大な傷害事故**の原因となります。



機械のナイフや回転部が完全に停止するまで調整・点検を行わないでください。身体の一部が引き込まれ、**死亡**や**重大な傷害事故**の原因となります。

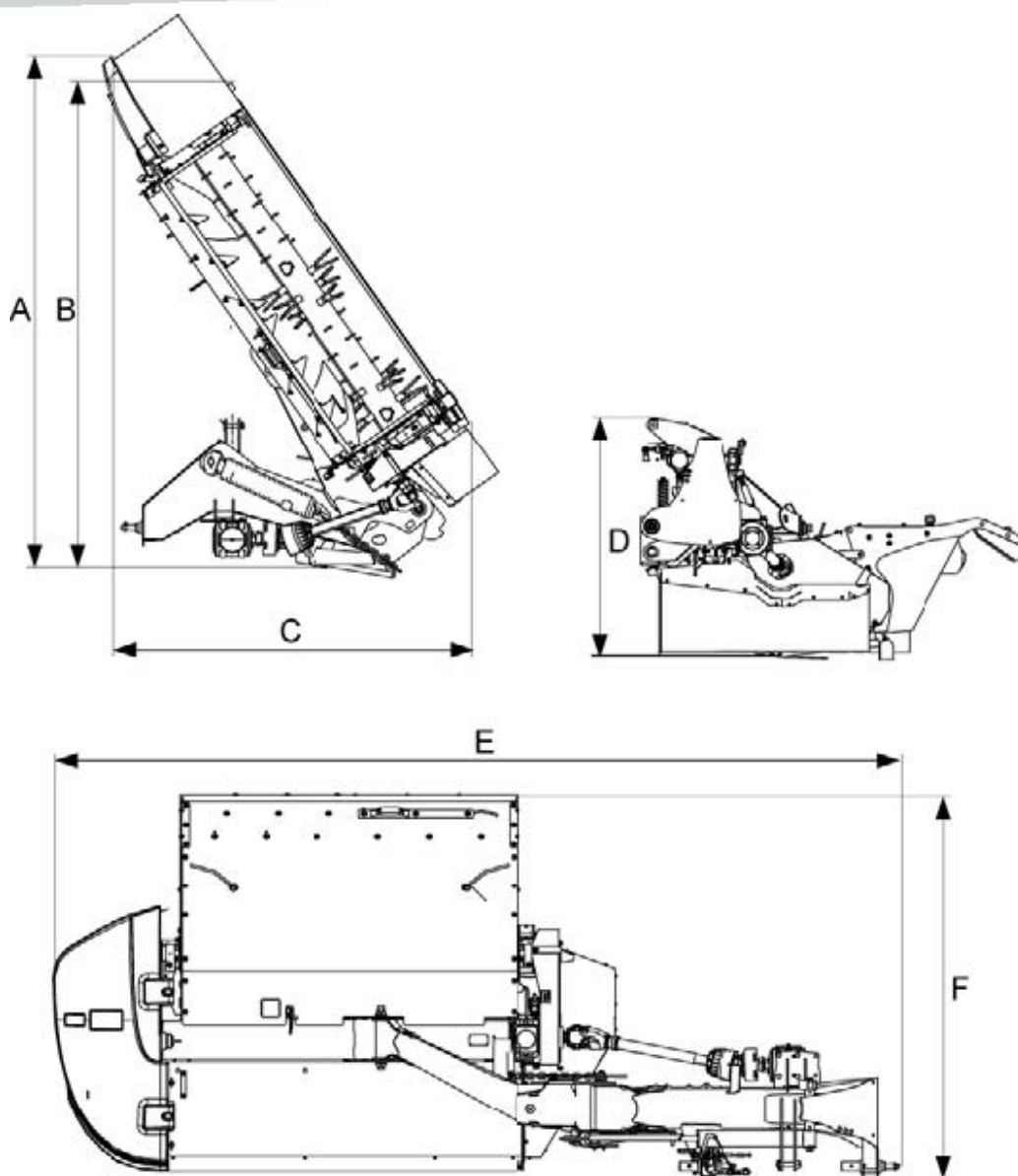


作業機が不安定な状態で、機械の下で調整・点検作業を行わないでください。機械の揺れ、その他の原因で機械が下降し、**死亡**や**重大な傷害事故**の原因となります。



作業中は機械の回転部に近づかないでください。ナイフなどで手、足など身体の一部が接触し、**重大な傷害事故**の原因となります。





Dimension	単位	624 T	628 T
A	mm	2730	3100
B	mm	2600	2960
C	mm	1910	2170
D	mm	1280	1280
E	mm	4530	4975
F	mm	2055	2055

テクニカルデータ

	単位	624 T	628 T
本体重量	KG	885	940
P.T.O. 回転数	rpm	540 (1000)	540 (1000)
トラクター適応馬力 最小～	kW/HK	50 / 70	60 / 80
ディスク数	Qty	6	8
ナイフ数	Qty	18	24
ディスク回転数	RPM	3000	3000
ローター回転数	RPM	600 / 900	600 / 900
刈取り高さ	mm	35 - 50	35 - 50
刈取り幅	m	2.4	2.8
必要トラクター外部油圧圧力	bar	180	180
ノイズレベル	dB(A)	85	85
推奨作業スピード	Km/時	6 - 15	6 - 15



注意

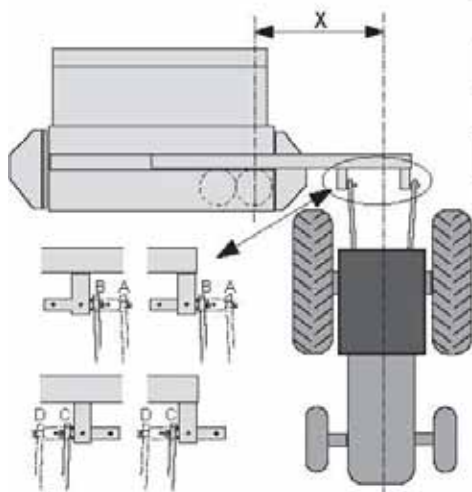
本機の作業には適切な重量のトラクターを使用してください。

不釣り合いなトラクターを使用すると、機械の操作性、トラクターのブレーキ性能を損なう恐れがあります。

トラクターへの装着

Assembly - attachment

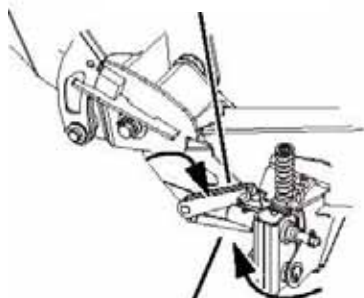
ローワリンクピンはトラクターのタイヤ幅に合わせ、左図のように、組み換えが可能です。



Pos.	Unit	Measurement "X"
A	mm	1600
B	mm	1500
C	mm	1290
D	mm	1190

→ »Adjusting the linkage pins« Page 24.

パーキングキャッチ



サポートレッグ

- 本機をトラクターに装着します。
- 本機を持ち上げ、両ローワリンクが同じ高さになるように調節します。
- サポートレッグを折りたたみます。同時にパーキングキャッチが解除されます。

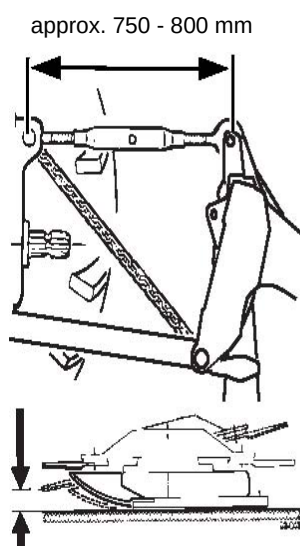
Stabiliser chains



ローワリンクのスタビライザーチェーンの調節を行います。



PTO シャフトを装着します。

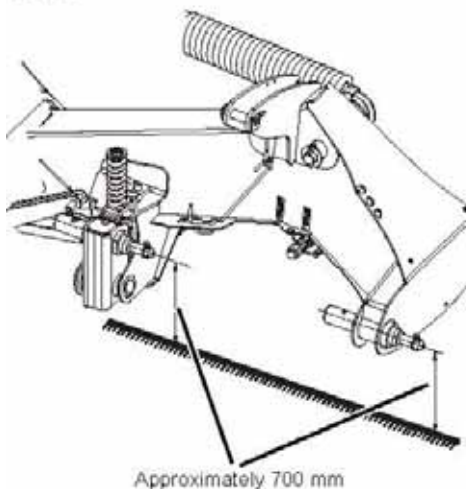


トップリンクの長さを調節します。

左図寸法の場合、刈高さは 50mm 程度になります。

希望の高さになるよう、圃場で調節してください。

Adjusting the suspension



- 適性な接地圧を得るために、本機の高さを正しく調節する必要があります。
- 左図のように、ローワリンクピンの地上高が約 700mm となるように調節してください。

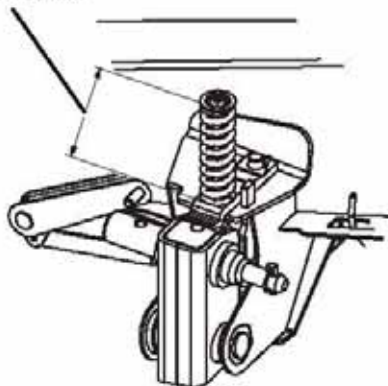


Chain or solid bar

- オプションのリミットチェーンを使用する場合は、片側ローワートップリンクブラケット周辺でチェーンを固定してください。

Spring catch

170-165 mm



- スプリングキャッチは、本機が障害物に接触した際に解除されます。
- スプリングキャッチが解除されると、本機は後方に逃げます。
- 本機が障害物を通過すると、自動的に作業位置に復帰します。
- 左図のように、スプリングの長さが 168mm 程度となるよう、調節してください。

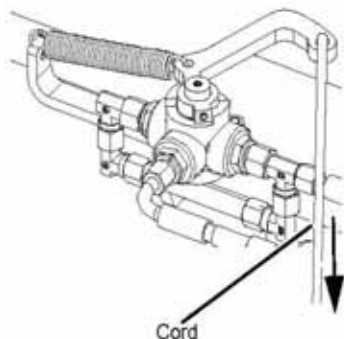
注意: スプリング長さは 165mm 以下には調節しないで下さい。
それ以上締めこむと、本機がロックされ安全装置が作動しません。

First start-up of machine



始動時の注意

作業を開始する前に下記の要領でテストを実施してください。
怠った場合、重大な事故に繋がる可能性があります。



- 本機を持ち上げてください。
- 低回転で PTO スイッチを入れてください。
- PTO 回転数を所定の 540/1000rpm まで徐々に上げてください。
- 本機に異常な振動や異音がしないかチェックしてください。
- PTO 回転数をアイドル状態まで下げてください。
- トラクター外部油圧でモアユニットを持ち上げます。
- 油圧バルブにより、枕時旋回位置で停止するか確認してください。
- トラクター外部油圧でモアユニットを戻します。
- PTO スイッチを切り、本機が完全に停止したか確認してください。
- 油圧バルブ(左図)のロープを引っ張った状態、トラクター外部油圧で本機を移動姿勢まで折りたためるかチェックしてください。
- トラクター油圧でモアユニットを作業位置まで降ろしてください。
- 油圧シリンダーが完全に伸びきった状態で、シリンダー、トラクター油圧の点検などを行ってください。

Machine in transport position



移動時の注意

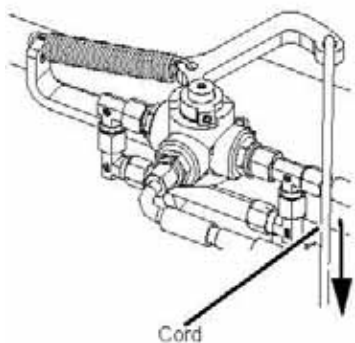
本機を移動、作業を行う場合は周囲に注意を払ってください。
人や動物などを危険にさらすことが無い様にしてください。
もしこれを怠った場合、重大な事故や怪我を引き起こす場合があります。

PTO の着脱

- 本機をトラクターに装着し移動する際は、PTO を取り外してください。
- PTO シャフトの取り付け角度が、許容範囲を超えてしまいます。
- この結果、PTO シャフトの破損に繋がります。

本機の移動姿勢

- トラクターに装着し、油圧を折りたたみ移動状態にすると、本機の高さは 4m 近くになる場合があります。
- 橋梁下や電線の下を通過する場合、本機がこうしたものに接触すると、本機、相手物をはじめ、トラクターやドライバーに重大な障害を与える原因となります。



移動姿勢への切り替え

- 本機が完全に停止していることを確認した上で、PTO シャフトを外してください。
- バルブのロープを引っ張ります。
- トラクターの外部油圧を操作し、モアユニットを折りたたみます。
- ロープを緩めます。
- ロワーリンクにショックアブソーバーが装備されている場合、移動時の操作については、トラクターの取り扱い要領書に従ってください。





注意

取り扱い説明書の熟読

オペレーターは本機を運転する前に、取扱説明書を熟読してください。怠った場合、誤った使用に至り、重大な事故に繋がる可能性があります。

オペレーターの確定

本機を使用するオペレーターは、取り扱い要領を熟知した者のみが行ってください。特に、安全に留意してください。

怠った場合、誤った使用に至り、重大な事故に繋がる可能性があります。

安全カバーの装着

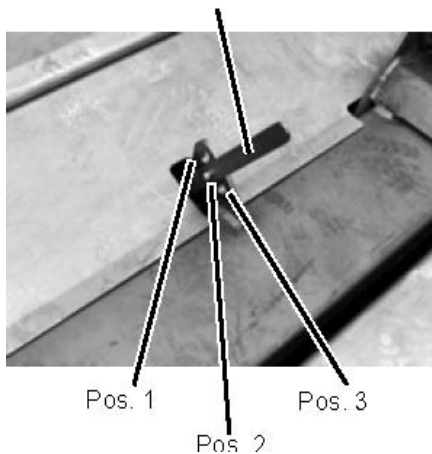
使用する前に安全カバー類が完全にセットされているか確認してください。こうしたカバーが運転者を保護する最も重要な手段となります。

安全カバー類を装着せず作業を行った場合、重大な事故に繋がる可能性があります。

Operation

本機の調節

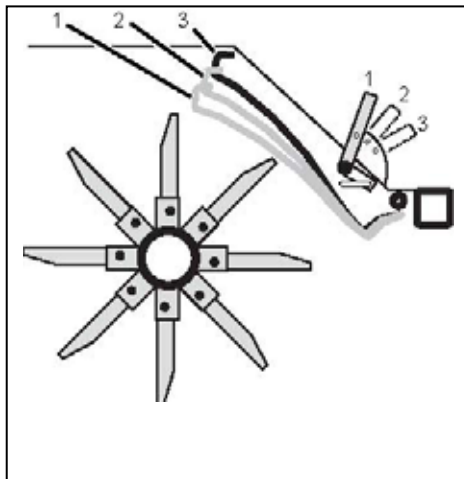
コンディショニングプレートの調節



コンディショニングプレートとローターの隙間は本機のレバーで行います。

調節は下記の要領で行います。

- ロックを引き抜きます。
- ハンドルを希望の位置に合わせます。
- 再度ロックをかけます。
- ハンドルが確実にロックされているか否か確認してください。



コンディショニングプレートの調節は牧草の種類・状態によって、下記を目安としてください。

Pos.1

通常のイネ科牧草

プレートローター間が狭く、コンディショニング効果が強い

Pos.2

イネ科とマメ科牧草の混播

プレートローター間が中間、コンディショニング効果が適度

Pos.3 葉が多いマメ科牧草

プレートローター間が広く、コンディショニング効果が弱い

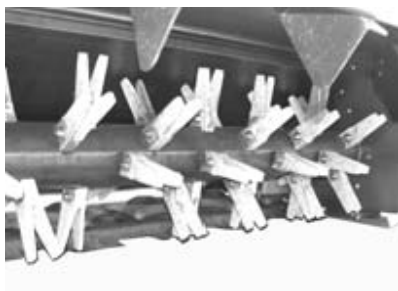
参考

ローターの回転数も、コンディショニング効果および牧草の搬送能力に影響をもたらします。 後述

Operation

本機の調節

コンディショニングローターの調節



注意

安全カバーを外して作業したり、脱落した場合には、石などの飛散により、オペレーターや周辺の人に障害を与える可能性があります。
カバー自体の損傷がないか日常の点検と、確実な装着を実施してください。

ローター回転数は 600rpm と 900rpm に切り替えが可能です。

適正回転数の目役は下表の通りです。

牧草の種類	ローター Rpm
葉部の割合がさほど多くない、通常のイネ科牧草	900
アルファルファやクローバーのような葉部が多いマメ科牧草	600

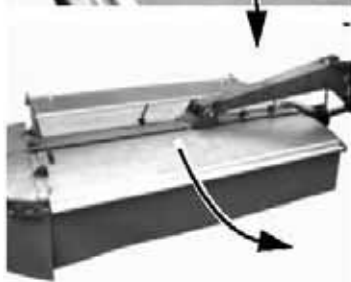
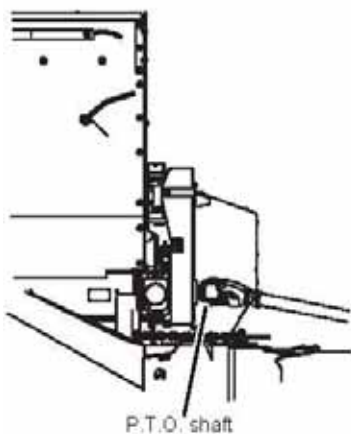
ローター回転数は下記を目安に、必要があればプーリーの組合せを替えてください。
適正なコンディショニング効果を得るため、コンディショニングプレートのポジションも正しく調節してください。

牧草の種類	ローター Rpm	ギアボックス側 プーリー直径	ローター側 プーリー直径
葉部の割合がさほど多くない、通常のイネ科牧草	900	・230 mm	・200 mm
アルファルファやクローバーのような葉部が多いマメ科牧草	600	・200 mm	・230 mm

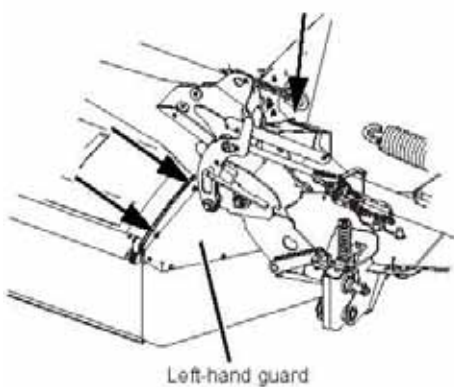
プーリーの組み換え方法

以下の要領でローターの回転数を変えることができます。

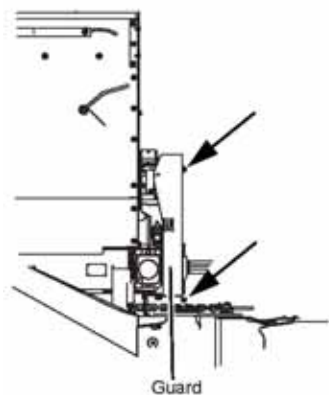
本機から PTO シャフトを外します。



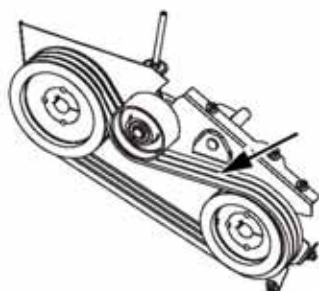
リングナットを外し、フロントカバーを開放します。



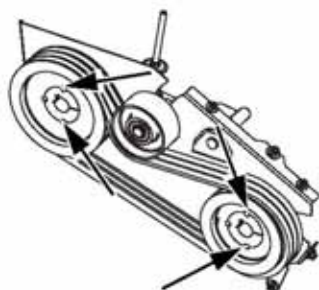
左側のサイドガードを外します。



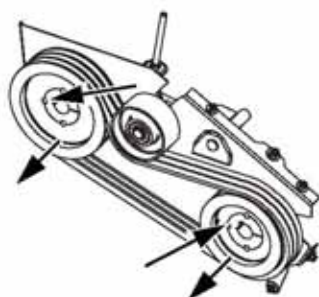
ローター駆動部のサイドカバーを外します。



Vベルトを外します。



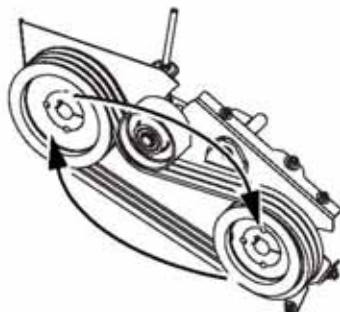
プーリー取り付けボルトを外します。



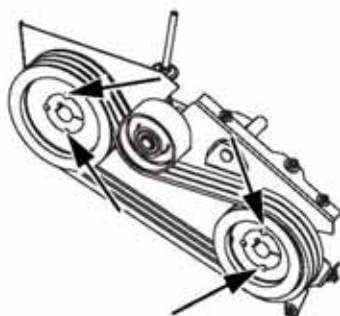
ボルトを左図矢印穴に入れ、プーリーがフリーになるまで締めこみます。

ボルトを外します。

この要領で両方のプーリーを外します。

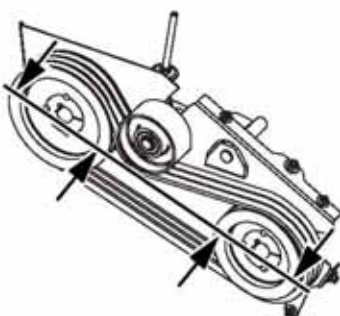


プーリーを交換し、ハブに取り付けます。



ボルトをプーリーの左図矢印箇所に取り付けます。

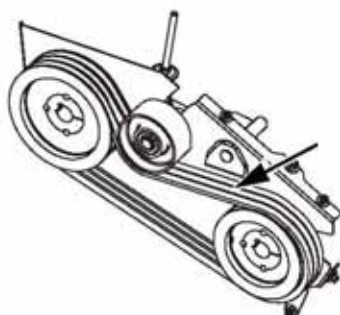
両プーリーとも実施します。



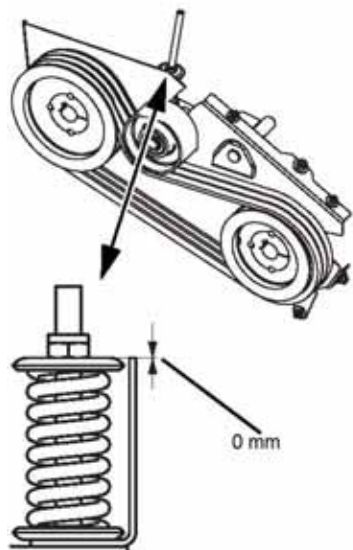
両プーリーのアライメントを調整してください。

鋼尺などを用い、正確に調節を行ってください。

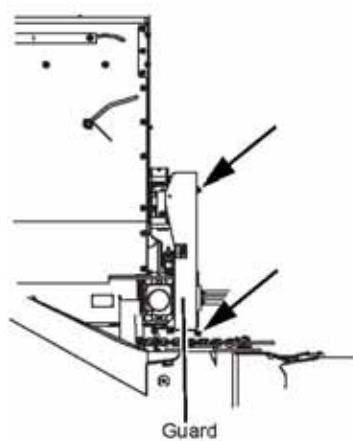
ボルトを完全に締め付けます。



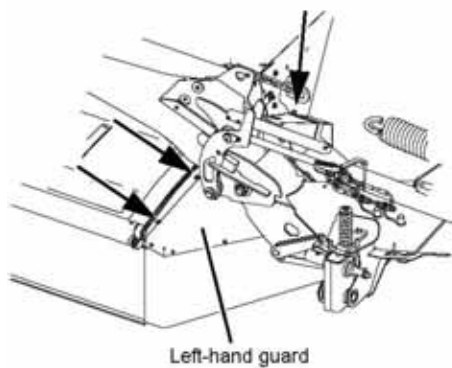
V ベルトを装着します。



左図を参考に、ロックナットでテンションスプリングの長さ調節を行ってください。



ローター駆動部のカバーを装着します。



左側安全ガードを装着します。

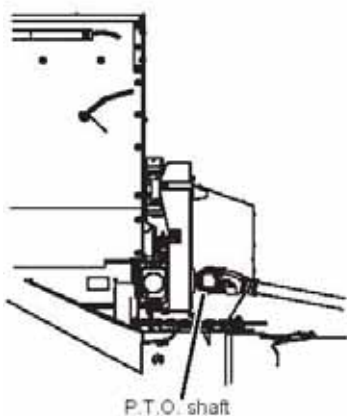


フロントガードを装着します。



リングナットを取り付け締め付けます。

Ring nut



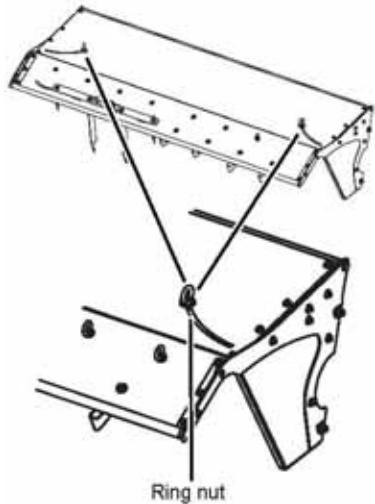
PTO シャフトを装着します。

P.T.O. shaft

本機の調節

Operatio

Deflector plates



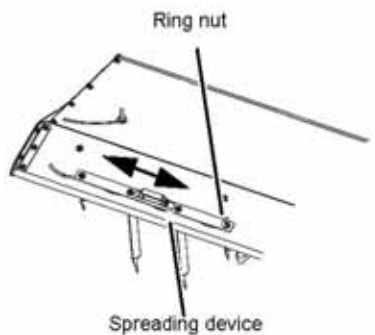
ディフレクタープレート

本機には 2 枚のディフレクタープレートが装備されており、スワース幅の調節が可能です。

スワースは常に一定量であるのが理想です、

- リングナットを弛めてください。
- 希望のスワース幅が得られるよう、ディフレクタープレートを調節してください。
- リングナットを締めてプレート位置を固定してください。

Spreading device



スプレッディングデバイス

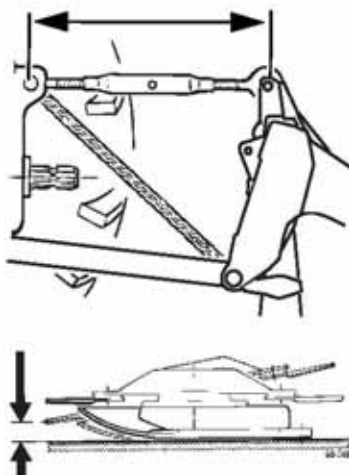
本機には、スプレッディングデバイスが装備されており、牧草の搬送拡散方向を調節できます。

調節は本デバイスの上のハンドルで行います。

スプレッディングの調節は下記の要領で行ってください。

- リングナットを弛めます。
- ハンドルでデバイスを希望の位置にスライドします。
 - 左に移動すれば、スワースは左方向へ放出されます。
 - 右に移動すれば、スワースは右方向へ放出されます。
- リングナットを締め固定します。

Stubble height



刈高さ調節

刈高さは下記の要領で調節します。

本機を地面に降ろしてください。

トップリンクの長さで刈高さを調節します。

- リンク短い⇒刈高さ低く
- リンク長い⇒刈高さ高く

参考：カッターバーが水平にセットされているとき、その刈高さは 30～35mm となります。

参考：高刈り作業を行う場合は、別売のハイスキッドを装着してください。ハイスキッドを使用せず、高刈り作業を行うと、コンディショニングタインが地面に接触し、破損するケースが有ります。

Ground pressure

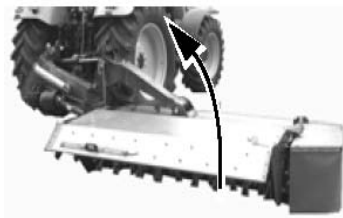


モアユニットの接地圧調節

本機のスプリングサスペンションを適切に調節することにより、50～60kgのユニットの接地圧が得られます。

接地圧の確認方法

- 3点フレームの高さが適正になっていることを確認してください。⇒前章参照
- 折りたたみ油圧シリンダーを完全に伸ばしてください。
- モアユニットを手で持ち上げ、その重さが 50～60kg であることを確認してください。



接地圧の調節方法

サスペンションスプリングのテンションが効かなくなる位置までモアユニットを持ち上げます。

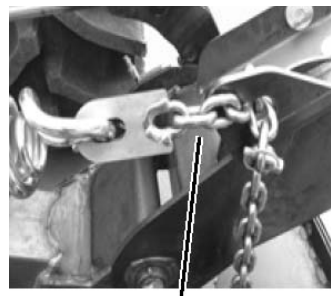


サスペンションスプリングにかかっているチェーンのロック位置を変えることでサスペンションを調節します。

- チェーンを短くすると、接地圧が低くなります。
- チェーンを長くすると、接地圧が高くなります。



Lock



参考：モデル別のチェーンロック位置の目安を示します。

624T --- リンク Nr.6-8

628T --- リンク Nr.10-12

調整後に実際の設置圧を確認してください。

必要あれば、上記方法にて再調整してください。

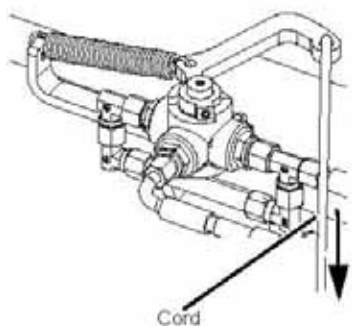
刈り取り作業

Operation

Working in the field



注意 作業を始める前に
本機で作業を行う場合は周囲に注意を払ってください。
人や動物などを危険にさらすことが無い様にしてください。
もしこれを怠った場合、重大な事故や怪我を引き起こす場合があります。



刈取り作業の開始

トラクター外部油圧に油圧ホースが確実に挿入されていることを確認してください。

バルブのロープを引っ張ってください。

トラクターの外部油圧でモアユニットを作業位置に降ろします。

折りたたみ油圧シリンダーが完全に伸び切ったことを確認した上で、トラクターの油圧レバーを戻します。

バルブのロープを放してください。

安全カバー類が正規位置に装着・位置しているか確認してください。

トラクターの PTO スイッチを入れてください。

PTO 回転数を所定の 540/1000rpm まで徐々に上げていってください。

適正な走行速度を選択し、刈取り作業を開始します。

畑の枕地に来たときは、トラクターの外部油圧レバーでモアユニットのみを持ち上げてください。

旋回後、モアユニットを下げ、刈取り作業を再開します。



Lubrication

Every day 毎日の注油箇所

P.T.O. shaft



PTO シャフト

トラクターから本機第一ギアボックスへの PTO シャフト

- 1～2 回/毎日、作業前にグリスポンプで充填してください。



第一ギアボックスからモアユニットへの PTO シャフト

- 1～2 回/毎日、作業前にグリスポンプで充填してください。

Every 40 hours of use 40 時間毎の注油箇所



モアユニット ドラム

- インナードラムを手で回し、穴からグリスガン差し込み内側のグリスニップルへ充填してください。

注意

ナイフで手や足などを怪我しないように、注意してください。



ローターベアリング

- ローター右側のベアリングのグリスニップルへ充填してください。

毎シーズンの注油



モアユニット ピボット部

- 毎シーズン 1～2 回/、作業前にグリスポンプで充填してください。



メインフレーム ピボット部

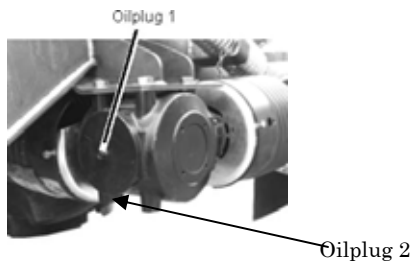
- 毎シーズン 1～2 回/、作業前にグリスポンプで充填してください。

ギアボックスのオイル交換



オイル交換の注意

- オイルを交換する際は、手袋をはめるかクリームを塗るなどして、手を保護してください。オイルで手が荒れるなど、深刻な事態に陥る場合があります。
- 指定された種類のオイルを使用してください。
- 異なったオイルを使用すると、ギアなどに障害をもたらす危険があります。
- 決められた量のオイルを充填し、定期的に量を点検してください。怠ると、深刻な損傷などをもちます。



第1ギアボックス / オイル量 1 L / 80W-90

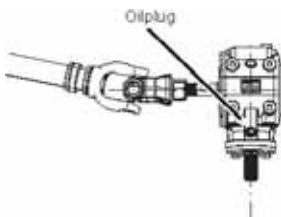
レベル/フィリングプラグ:ギアボックス横 Oilplug 1

ドレインプラグ:ギアボックス底 Oilplug 2

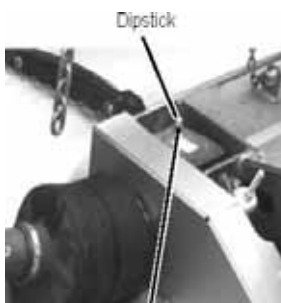


第2ギアボックス / 1 L / 80W-90

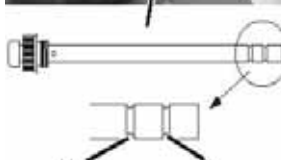
- 左ドラム上のカバーを取り外します。



- ギアボックス下側のドレインプラグからオイルを抜き取ります。



- ギアボックス上のブリーザープラグを外し、オイルを充填します。このプラグに付属のディップスティックの両溝の中間位置程度にオイル面が有る時、適正量となります。



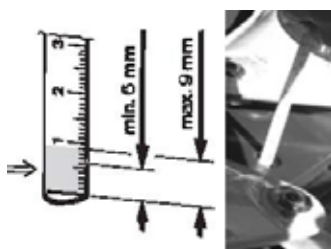
カッターバーのオイル交換



注意

オイル交換を行う際は、本体やバーに落下防止の措置を施してください。

怠ると深刻な事故の発生原因となります。



- モアユニットを油圧で移動位置に折りたたんでください。
- ユニット下に下降防止にスタンドなどを設置してください。
- ユニートをゆっくり降ろします。
- トラクターのパーキングブレーキをかけ、エンジンを停止します。

- 最内側のスキッドを取り外します。

- 下にオイルパンを置き、ドレインプラグを外し、オイルを抜きます。10～15 分程度、完全にオイルが抜けるまで放置します。

- トラクター油圧で、モアユニットを作業位置に戻し、カッターバーを水平な場所に固定します。

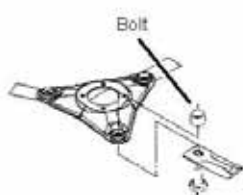
- バー上面のフィリングプラグを外し、所定量のオイルを給油します。

624T - 3.1 L

628T - 3.6 L

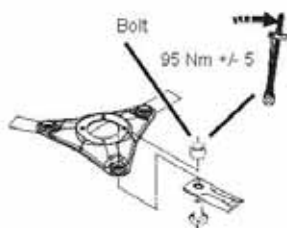
- オイル量を定期的に点検してください。

適正量のオイルが入っている場合、バーが水平な状態でレンチなどを差し込むと、オイルレベルが6～9mm程度となります。



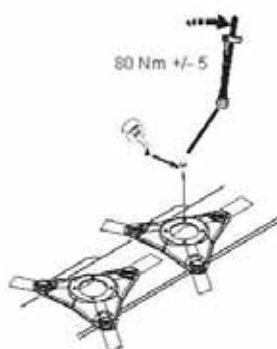
ナイフの点検 / 交換

- ナイフは定期的に点検してください。
- 磨耗・破損しているナイフは交換してください。
- ナイフを交換した後、ナイフボルト/ナットを規定トルクで締め付けます。(95Nm)



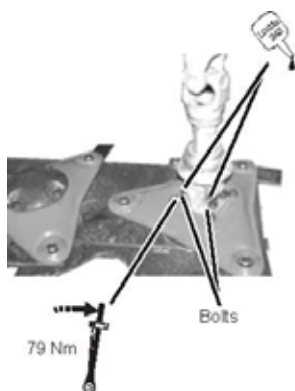
カッティングディスクの点検

- ディスクは定期的に点検してください。
- 磨耗・破損しているディスクは交換してください。
- ディスクを交換する場合は、左図を参考に両隣のディスクに対し、正しいタイミングで装着してください。
- ボルトにロックタイト 242 を塗付してから、80Nm のトルクでしっかりと締め付けてください。



ユニバーサルジョイントの点検

- カッターバーへの入力シャフトを定期的に点検してください。
- 第一ドラム上のカバーを外します。
- ユニバーサルジョイントとディスクの取り付けボルトに緩みがないか点検してください。
- 緩んでいた場合、ボルトを外し、ロックタイト 242 を塗付の上、79Nm でしっかりと締め付けてください。

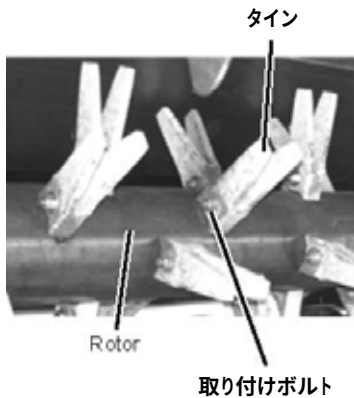


コンディショニングタインの点検



注意

- モアユニットの前後左右の安全カバーをつけずに作業したり、刈取り中に外れると、重大な事故に繋がる危険性があります。
- 安全カバーが正しく装着されているか、破損などが無いが常に点検してください。



コンディショニングタインの点検

タインは作業前に、毎日次の点検を実施してください。

- タイン自体の取り付けに緩みが無いこと
- タイン取り付けボルトに緩みが無いこと
- タインが破損したり、大きく磨耗していないこと

上記に異常がある場合、タイン取り付けボルトの増し締めを行い、必要がある場合はタインを交換してください。



本州営業部：福島県西白河郡泉崎村第一工業団地内
TEL 0248-53-4121 / FAX 53-4123

札幌営業所：北海道千歳市上長都 1121-2
TEL 0123-26-2241 / FAX 26-2230

帯広営業所：北海道川西郡芽室町東芽室北 1 線 18-19
TEL 0155-62-6401 / FAX 62-6403